

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第21号	
事故等種類	乗組員負傷	
発生日時	平成22年1月8日（金） 09時10分ごろ	
発生場所	静岡県下田市下田港鵜島岸壁 （概位 北緯34°40.20′ 東経138°56.97′）	
事故等調査の経過	平成22年2月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報</p> <p>貨客船 あぜりあ丸、480トン 130198、神新汽船株式会社</p> <p>船長、四級海技士（航海） 機関員、四級海技士（機関）</p>	
死傷者等	負傷 1人（機関員）	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び機関員ほか7人が乗り組み、下田港鵜島岸壁において、貨物倉へのコンテナの積込みが終了したので、貨物倉ハッチの閉鎖作業を始めた。</p> <p>荷役作業に従事していた機関員は、貨物倉ハッチの閉鎖作業が始まったのを確認したのち、船首甲板右舷側に貨物を積載するため、貨物倉ハッチに背を向け、角材を甲板上に置く作業を始めた。</p> <p>機関員は、平成22年1月8日09時10分ごろ、無意識にハッチカバーの走行レール上に左手を置き、同カバーの走行ローラに左手の指3本が挟まれた。</p> <p>機関員は、左手の指3本を骨折した。</p>	
その他の情報	機関員は、両手に軍手をしていた。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約4m/s</p> <p>海象：波高 穏やか</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、下田港鵜島岸壁で貨物倉ハッチを閉鎖中、機関員が、ハッチカバーが走行レール上を走行中であることを知っていたが、貨物倉付近で別の作業を行っているうちに無意識に左手をハッチカバーの走行レール上に置いたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が下田港鵜島岸壁で貨物倉ハッチを閉鎖中、貨物倉付近で別の作業をしていた機関員が、無意識にハッチカバーの走行レール上に左手を置いたため、同カバーの走行ローラに左手を挟まれたことにより発生したものと考えられる。	

